

事業名	県社会福祉協議会関係助成費			調査番号	18
細事業名	山梨県社会福祉大会負担金	財務コード	074605		
担当部課室	福祉保健 部 福祉保健総務 課 福祉企画・生活保護 担当 (内線)			3069	

I 事業の概要

実施期間	始期 S28 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	負担金交付((福)山梨県社会福祉協議会)		
目的	だれ(何)を対象に 山梨県社会福祉大会	その対象をどのような状態にして 社会福祉の発展に功績があった者の表彰等を行うことにより、社会福祉活動への理解と関心が高まっている	結果、何に結びつけるのか 社会福祉の向上
	内容 社会福祉の向上に顕著な功績のあった個人・団体等を表彰することなどを目的とする山梨県社会福祉大会が開催されるにあたり、大会の開催主体に対し負担金を交付する。 ・交付先:山梨県社会福祉協議会 ・交付額:100千円		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	大会における表彰者数(知事表彰数) ※過去3年間の平均	目標 67	68	74	71	65	71	69.0
		実績(見込) 126	53	37	106	69	70	
		達成率 188.0	78.0	50.0	149.2	106.1	98.5	
		達成区分 a	c	c	a	b	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		220	220	100	100	100	100	100

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価 知事表彰は、同大会で同時に顕彰される県社会福祉協議会長表彰を前年度までに受けた者の中から市町村等の推薦により選出されることから、年により表彰数は変動しているが、社会福祉の向上に寄与した多くの個人・団体等を顕彰することにより、社会福祉の対する従事者等の意識高揚が図られている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	H14までは県が主催していた年に一度の大規模な大会であり、福祉関係者が一堂に会し、意識向上や情報の共有、関係者間のネットワークの強化にもつながる貴重な機会である。福祉人材の確保や福祉従事者のスキルアップが求められる状況の中で、当大会の開催意義は高い。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	社会福祉大会については、これまで運営方法の見直しや予算額の減額などを行う中で、表彰を通じて福祉関係者の自己研鑽意欲の向上などにつながるなど一定の成果を上げており、見直しの必要性はない。		
見直しの必要性	無			

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	H14政策アセスメントによりH15以降は大会運営を山梨県社会福祉協議会に全面的に委ね、負担金額もH28から大幅に減額している。
-------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。